

## フードバンク支援活動の流れ

KFC店舗は、閉店時に店内にある調理済み「オリジナルチキン」と「骨なしケンタッキー」をルールに則り凍結・保管します。フードバンク横浜からの要請に基づき、フードバンク横浜の物流ステーションに配送された商品は、その後、こども食堂等に届けられますが、それぞれの責任で冷凍物流・冷凍管理をすることが必要です。こども食堂等では、安全の配慮のため「オリジナルチキン」は骨を外して提供し、加熱調理をする必要があります。その他にも決められたルールを「KFC」「フードバンク横浜」「こども食堂等」のそれぞれが守ることで、食材の安全が担保され、安心してお召し上がりいただくことができます。なお、日本KFCは、フードバンク横浜とともにこども食堂等におけるメニュー考案にも協力しています。



## こども食堂等への支援活動とSDGs(※)17の目標について

日本KFCは、誰もが健やかに、心豊かに暮らすことができる社会の実現を目指し、社会貢献活動に取り組んでいます。私たちが提供している「おいしさ」を食育、チャリティ、スポーツなどを通して伝え、次世代を担う子どもたちがいきいきと笑顔になれるような未来の実現を目指しています。今回のこども食堂等への支援は、販売可能な商品のロス削減、廃棄物の総量削減、店舗・本部の積極的人的支援など、SDGsの17の目標における「1.貧困をなくそう」、「2.飢餓をゼロに」、「3.すべての人に健康と福祉を」、「4.質の高い教育をみんなに」、「5.ジェンダー平等を実現しよう」、「8.働きがいも経済成長も」、「10.人や国の不平等をなくそう」、「12.つくる責任 つかう責任」、「16.平和と公正をすべての人に」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」への取り組みにつながっています。

※ SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

